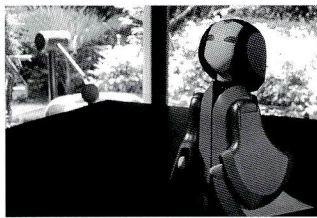


運動性能とデザインを両立するロボ・ガレージ代表格「クローノ」(左)と、女性型の実現に挑戦した「FT」(Female Typeの頭文字より・右)。「FT」はその美しい細身のシルエットと女性独特の美しいモーションが特徴



「源氏物語千年紀」イベントのひとつ、石山寺にて開催された「源氏夢回廊」内の施設「未来千年館」で常設展示された「MURASAKI」。装飾部をイメージして製作され、着物の裾を引いて歩くように移動し、源氏物語の冒頭を語る



ご存知、Panasonicが開発した新乾電池「EVOLTA」のCMで、グランドキャニオンを舞台にそのエネルギーの長もち実証に挑戦しているロボ「エボルタ」。撮影日数5日間、頂上到着まで6時間超えという苦勞の結晶だ

Information

ROBO GARAGE
ロボ・ガレージ

京都市左京区吉田本町
京都大学ベンチャービジネスラボロトリー2F
<http://www.robo-garage.com/>

ロボットクリエイター

高橋智隆

TAKAHASHI TOMOTAKA

【プロフィール】京都出身。京都大学工学部理工学科学科メカトロニクス研究室卒業。03年に「ロボ・ガレージ」を創業、京都大学学内入居ベンチャー第1号に。大阪電気通信大学客員教授、ヒューマンキッズサイエンスアドバイザーと多数の顔合わせ持つ。著書に「ロボットの天才」(メディアファクトリー刊)。

京 KYOTIAN I.D.

京のおきばりさん

取材・文/山田涼子 撮影/石川奈都子

アトムに魅せられたロボマスターが世界へ向けて発信する新計画とは？

世界が認めるロボットクリエイターが、京都大学内で日夜開発に励んでいる。彼の名は、高橋智隆。聞き覚えのある人も多いはず。何しろ彼は、「ロボカップ世界大会」に5年連続優勝、TIME誌やポピュラーサイエンス誌に登場する時の人、そしてPanasonicのCMでグランドキャニオンをせせと登るロボットの生みの親でもある。

幼稚園の頃、アトムをつかった科学者に憧れた理系少年は、中学ではバス釣り、大学ではモーグルスキーに夢中になる。転機は就職活動で釣具やスキー・ゴルフ用品を手がける第一志望の会社に落ちて訪れた。「人生のリセットボタンを押した」。再度受験勉強を開始。1年後、京都大学工学部にいた。生来のものづくり好きで、1年生で手がけた初代ロボットは、既存のプラモデルにモーターを仕込んで歩くように仕上げたもの。「でも制約が多い上に、著作権の関係で自由に見せびらかせない(笑)」ので、オリジナルモデルに着手する。

彼が新たなロボットをつくるに、先もそのスタイルを維持しつつ、「飛び回りながらロボットをつくらせていきます。『コンパクトなもの』あります。オリジナルコンセプトを先に提案して、それを見て依頼してもらわなくて、下請けになってしま」。世界に羽ばたく才能が左京区で輝いているのは、京都の誇りと言える。きつとその誇りは、千年続くものであるはずだ。

製作作業は専ら京滋で、コラボレーションや個展は東京や海外で。この先もそのスタイルを維持しつつ、「飛び回りながらロボットをつくらせていきます。『コンパクトなもの』あります。オリジナルコンセプトを先に提案して、それを見て依頼してもらわなくて、下請けになってしま」。世界に羽ばたく才能が左京区で輝いているのは、京都の誇りと言える。きつとその誇りは、千年続くものであるはずだ。